

令和3年度 児童・保護者アンケート結果

子供たちが、上手に気持ちよく自転車に乗るために…

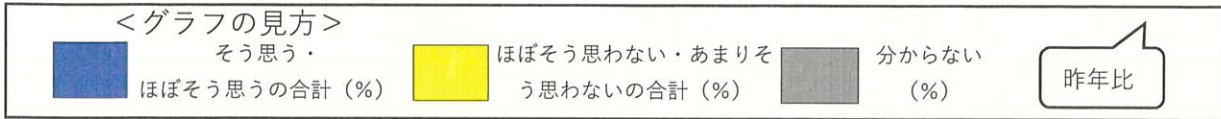


芳賀町立芳賀南小学校

令和3年度 児童・保護者アンケート結果から

☆ 児童の肯定的な回答が85%以上の項目…17項目中15項目 (88.2%)

☆ 保護者の肯定的な回答が85%以上の項目…18項目中11項目 (61.1%)

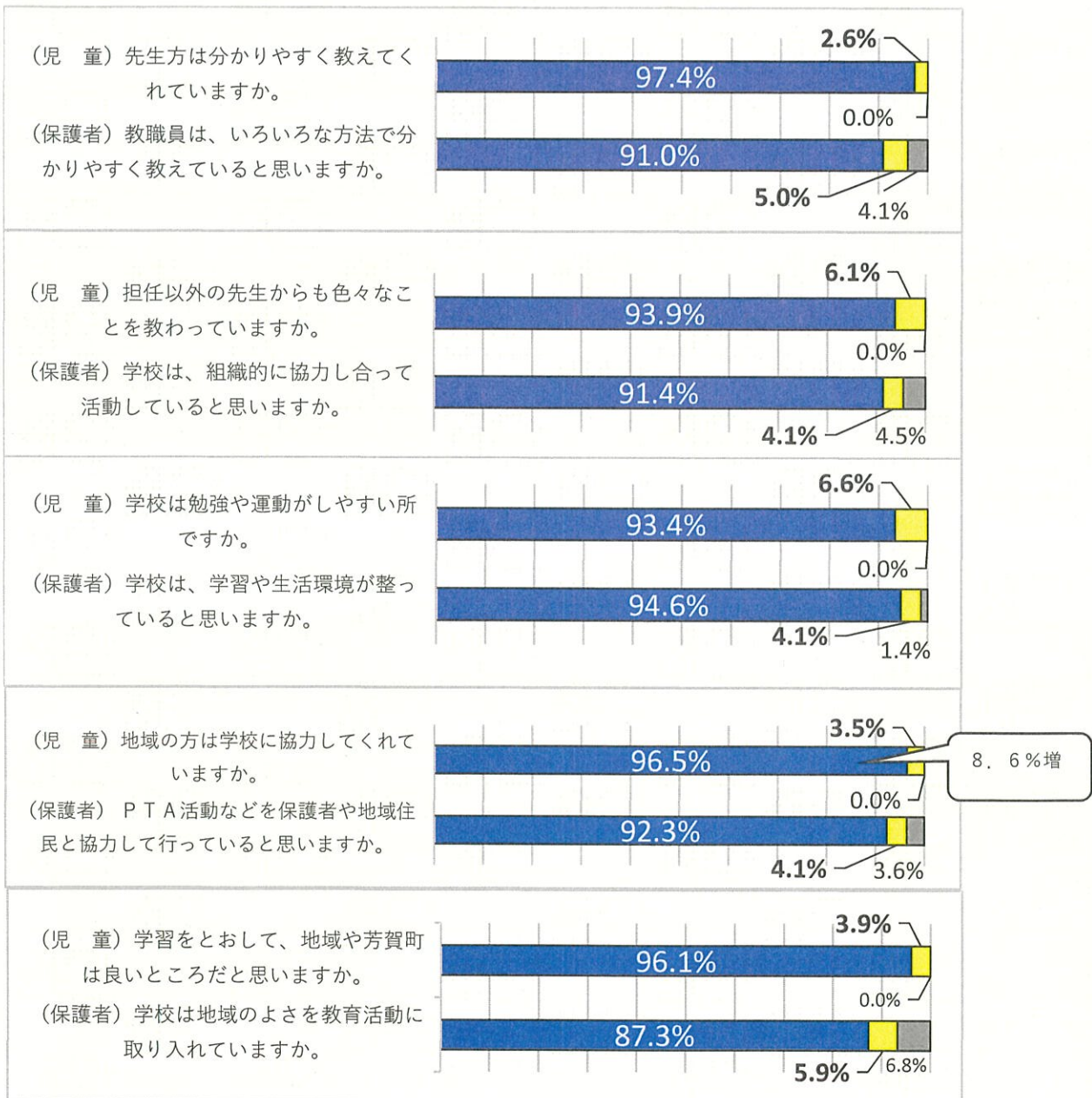


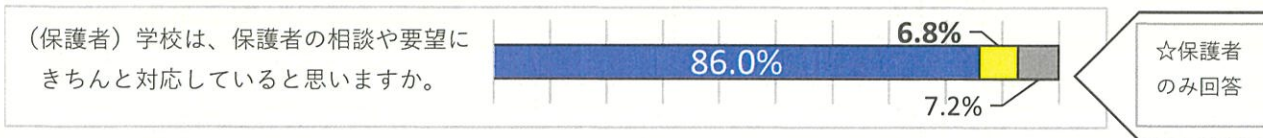
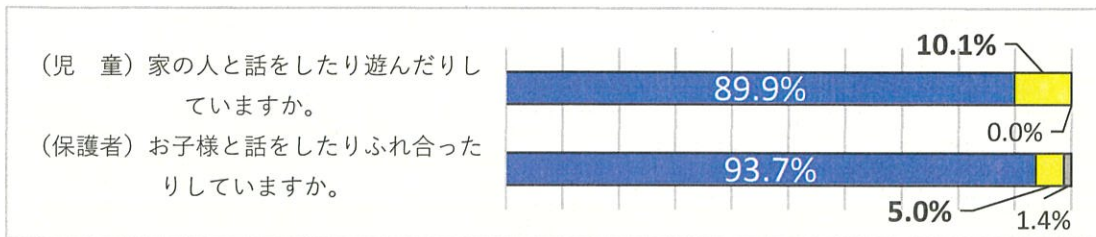
※自動集計のため、合計が100%にならないものもあります。御了承ください。

1. 児童、保護者共に肯定的な回答が85%以上の項目

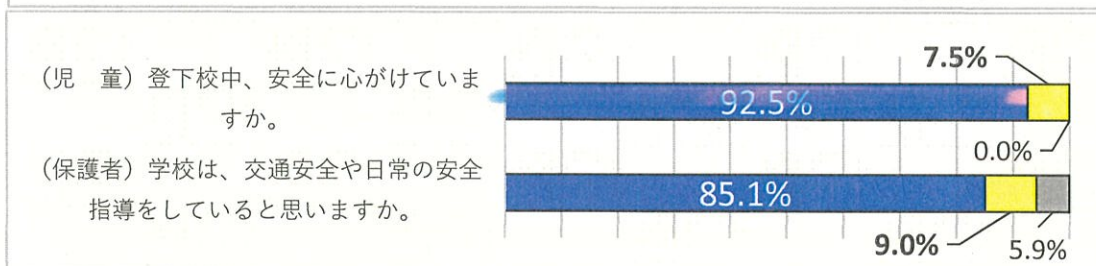
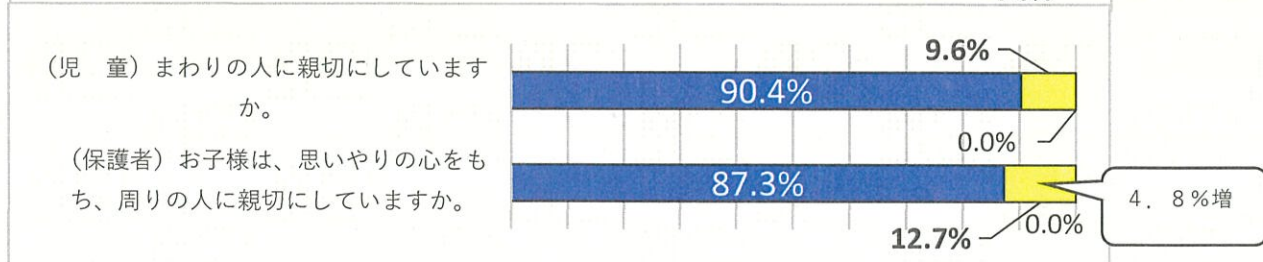
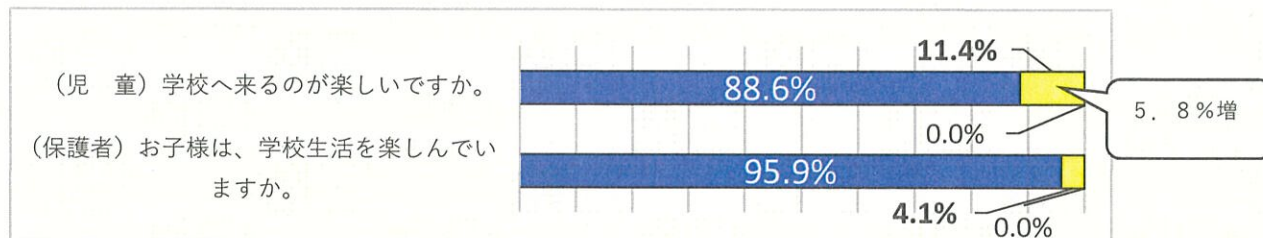
★ アンケートの結果から、学習面、施設面、保護者と教職員との連携、地域との連携等の面で、良好な結果が得られました。

また、今年度新設したアンケート項目「地域のよさを伝える教育」についても、児童が、学習をとおして芳賀町や地域のよさを感じていることが分かりました。





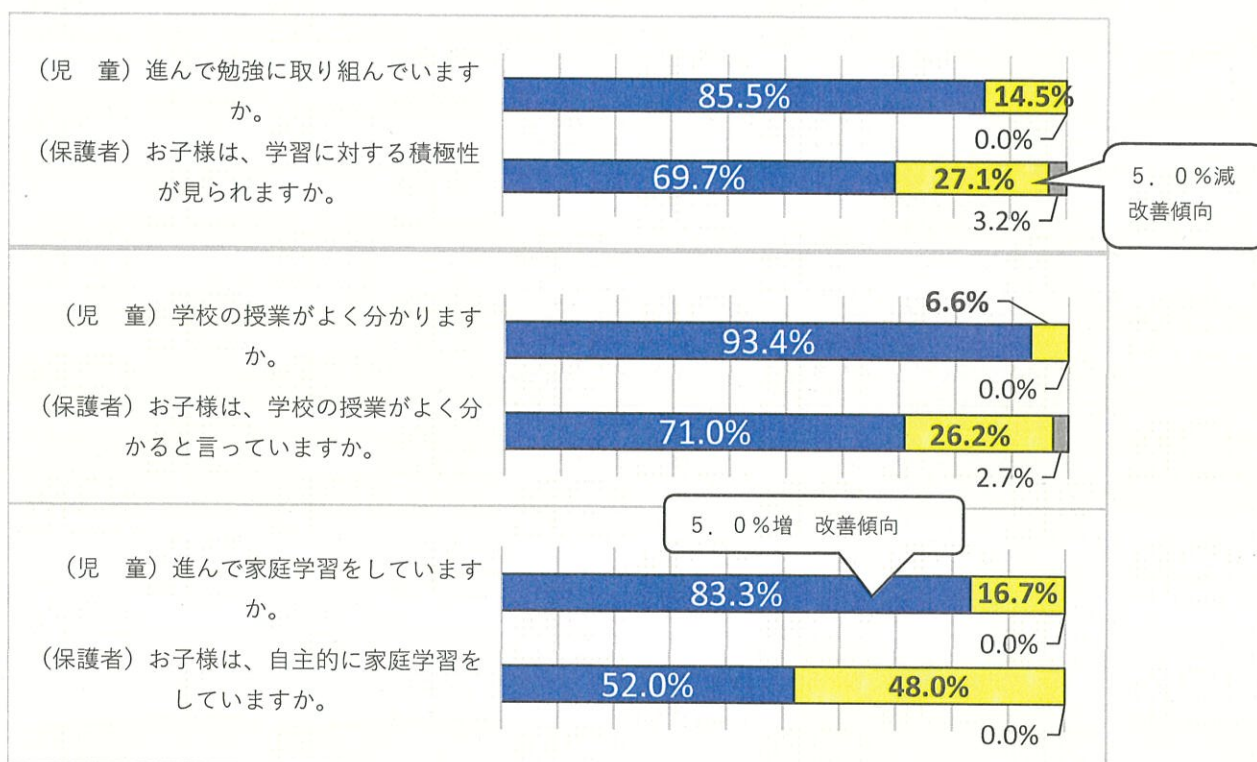
★ 概ね良好な結果ではあるものの、以下の3項目は「あまりそう思わない・そう思わない」と回答した児童や保護者が約10人に1人いるという結果になりました。この数字を重く受け止め、楽しく安全で思いやりにあふれる学校づくりを進めていきたいと思ひます。



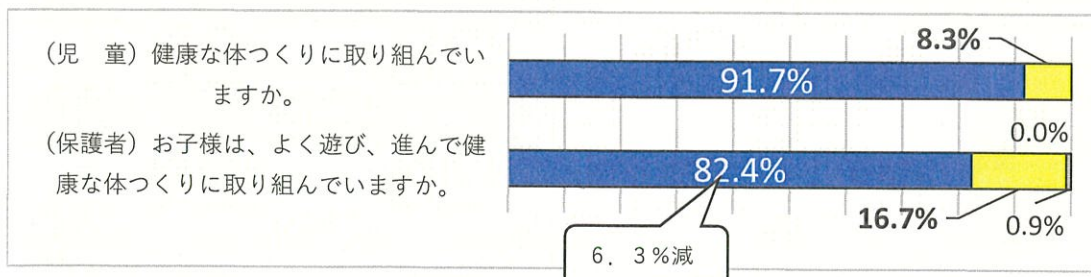
2. 児童、保護者いずれかの肯定的な回答が85%以下の項目

(1) 学習に関すること

★ 前年度に比べ、「進んで家庭学習をしている」と回答した児童が5%増加しました。また、「学習に対する積極性が見られる」に肯定的な回答をしなかった保護者が5%減少しています。児童の学習に向かう姿勢に改善傾向が見られ、保護者にも認められつつあると考えられます。しかし、児童の学習への取り組み方にはまだまだ課題が多いと考えられますので、今後も学校では、学力の定着へ向けた指導はもちろん、学ぶことの楽しさや家庭学習の大切さなどを継続して指導していきたいと思えます。御家庭でも、家庭で学習しやすい環境を整えることや、頑張っているときは大いに褒めて学習意欲を上げていくことなどへの御協力をお願いします。

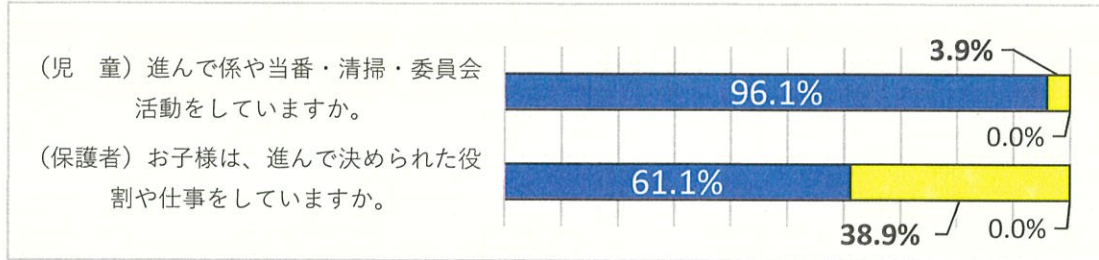


★ コロナ禍で、運動をする機会が減っていることが想像できます。体育の授業や体力づくりなど、運動量を確保した質の高い運動ができるよう工夫していきたいと思えます。御家庭でも、普段の生活の中で体を動かす機会を見つけ、取り組ませてみてください。



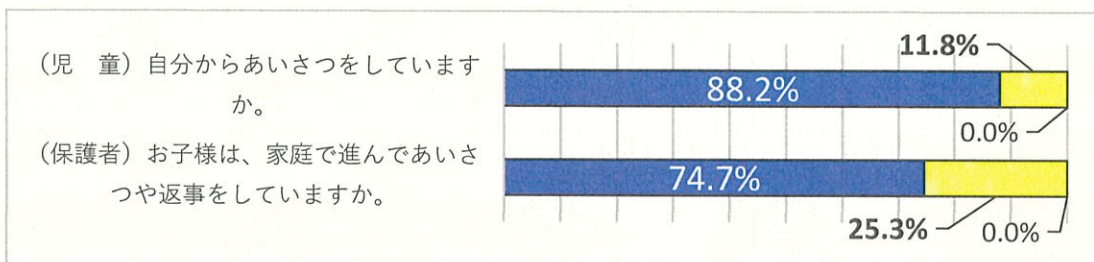
(2) 生活に関すること

★ 本校の児童は、係や当番の仕事など、みんなで決めた役割に一生懸命取り組んでいます。各御家庭では、家族の一員としての役割分担が決まっているでしょうか。決まっていない場合は、児童の成長に合わせた役割分担を行い、できたらたくさん褒めてあげていただければと思います。

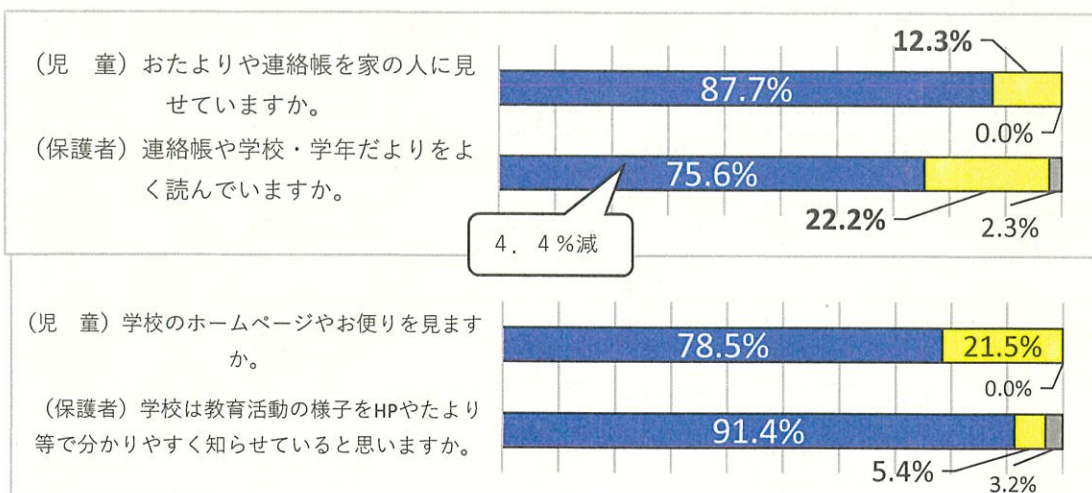


★ 集会委員会が企画して、朝のあいさつ運動が行われています。元気なあいさつが響き渡る学校は本当に気持ちがいいものです。

児童が将来、人と関わり合いながら生活していく上で、しっかりとしたあいさつや返事ができることはとても大切なことです。学校や家庭で繰り返し練習を重ね、身に付けるようにしていきましょう。



★ 学校の方で出しているおたよりは分かりやすいと多くの方に評価いただいておりますが、自由記述の意見で「おたよりの量が多すぎる。」「一斉メールを使って連絡してほしい。」等の御意見もいただきました。現在も、おたよりを読みやすくしたり、なるべく減らすようにしたりしていますが、伝えたい内容によってはメールでは対応できないものもあります。保護者のみなさんと共通理解したいことをおたよりにしていますので、必ず目を通していただければと思います。連絡帳も同様です。お忙しいところ申し訳ありませんが、御協力をよろしくお願いいたします。



子供たちが、上手に気持ちよく自転車に乗るために…
(子供たちが健やかに成長するために…)

お子様やお子様の周りには、どのように成長して行ってほしいでしょうか。
子供たちは、家庭(地域)の教育と学校の教育の力で大きく成長していきます。



学校と家庭(地域社会)は、自転車の両輪です。

もし、家庭で言っていることと学校で言っていることが違ったら、子供の乗っている自転車のタイヤはスムーズに回るでしょうか。回りませんね。

家庭と学校が同じイメージをもちながら、子供たちの教育に当たることが大切です。子供たちが上手に気持ちよく自転車に乗れるよう、家庭と学校が同一歩調で協力していきましょう。

本校の子供たちの傾向

自己肯定感が低い。

↳ 自分にはいいところがある。自分のよさを友達のために生かしたい。

自己有用感が低い。

↳ 自分は誰かの役にたっている。自分は、誰かに必要とされている。

子供の苦手なところ、できないところについつい目が行ってしまいますが、学校でも家庭でも一人一人を認め褒めてあげることで、子供たちはどんどんいい子になります。

家庭でも学校でも、子供たちをたくさん褒めていきましょう。

<芳賀町こども憲章との関わり>

肯定的な回答の数値 (%)

○やりぬく心「将来の夢や目標に向かって学び、努力します」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
2	学習への積極性	85.5	69.7	2-①	導入の工夫	100.0
3	学習内容の理解	93.4	71	2-②	個に応じた指導	100.0
8	分かりやすい授業	97.4	91	2-⑦	学んだことを生活に生かす指導	100.0
				10-②	授業研究会の実施と授業改善	100.0
5	家庭学習への取組	83.3	52	2-⑩	家庭学習の習慣化	100.0

考 察
全体的に、児童と保護者の肯定的な回答の差が大きい。 児童の学習への意欲向上や学習内容の定着のため、教師の指導力の向上研修等の充実を図る。 また、家庭との連携を図り、家庭学習の仕方や家庭での学習環境の整備などについても啓発していく必要があると考えられる。

○元気なあいさつ「心を込めてあいさつし、地域の人を笑顔にします」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
6	あいさつ	88.2	74.7	4-②	規範意識・基本的な生活習慣	100.0
				4-⑥	みんなで守ろう「あいいうえお」	100.0

考 察
指導を重ねてきたが、昨年とほぼ同様の結果だった。学校と家庭の両面から、改善に向けた指導の仕方を検討していく必要がある。

○正しい習慣「体と心をきたえ、健康に過ごします」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
4	役割への取組	96.1	61.1	3-②	係活動への責任感と意欲付け	100.0
9	健康な体づくり	91.7	82.4	7-⑤	めあてをもって取り組む体力づくり	100.0
10	安全教育	92.5	85.1	8-③	交通安全教室、避	100.0
				8-④	難訓練等意識向上	100.0

考 察
保護者回答の「児童の役割への取組」「児童の健康な体づくり」の肯定的回答が低かった。児童の家庭生活の実態把握をするとともに、児童への指導や家庭への啓発を継続していきたい。

○思いやりの気持ち「命の大切さを理解し、いじめを許さず、友情を育みます」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
1	楽しい学校生活	88.6	95.9	4-④	いじめのない学校づくり	100.0
7	思いやり・親切	90.4	87.3	5-③	個を大切にした学級経営	100.0
16	親子のふれあい	89.9	93.7	6-①	児童の共通理解と校内支援体制	100.0

考 察
良好な回答が得られている。今後も、これまでの指導を継続するとともに、道徳教育や人権教育を一層推進し、思いやりの気持ちを育む指導に努めていきたい。

○誇れるふるさと「美しい自然と良き文化を大切にします」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
13	地域のよさを生かした学習	96.1	87.3	2-⑥	郷土愛を育む指導	100.0
14	保護者や地域との協力	96.5	92.3	13-③	家庭や地域との連携	100.0
15	学校の学習環境・生活環境	93.4	94.6	13-④	地域人材・教育資源のファイリング	100.0

考 察
良好な結果が得られている。今後も地域との連携を図りながら、郷土愛を育む指導を継続していきたい。また、保護者に対しても、児童の学びの様子を伝えるようにしていきたい。